

浜銀総研 News Release



横浜銀行グループ

2023年6月29日

「赤ちゃん物価指数」を作成しました！

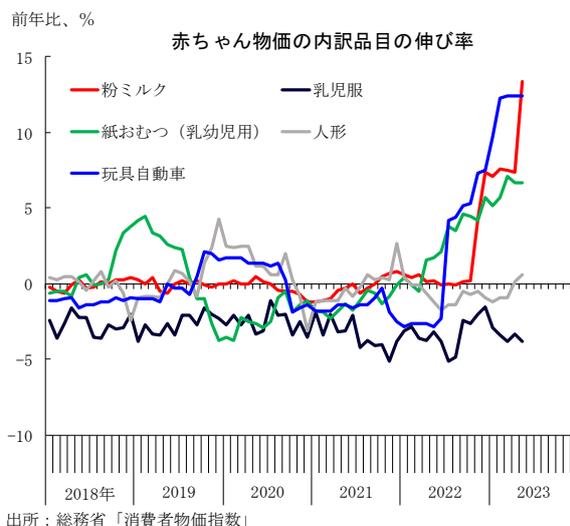
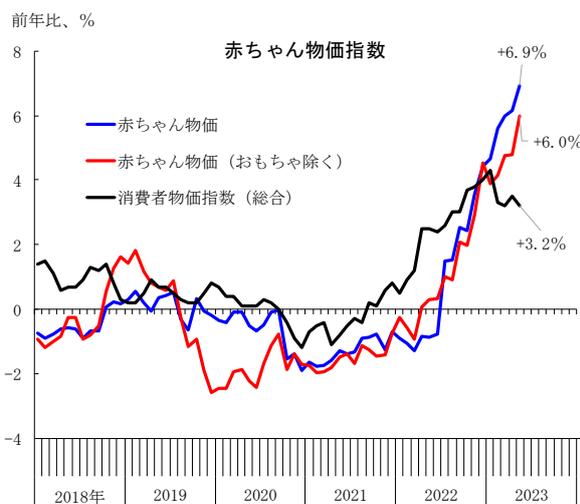
—— 赤ちゃん物価（おもちゃ除く）の伸び率は過去最高の水準に ——

浜銀総合研究所（代表取締役社長 鈴木 圭一）は、総務省「消費者物価指数」から子育て関連の商品に係る物価指数（今回は乳幼児関連商品）を抽出して統合した「赤ちゃん物価指数」を作成しました。各種商品の値上がりによって国内家計の育児関連支出の負担がどの程度高まっているのかを確認することができます。

「赤ちゃん物価指数」は消費者物価指数に含まれる品目のうち、粉ミルク、乳児服、紙おむつ（乳幼児用）、人形、玩具自動車（おもちゃ）を一定のウェイトに基づき合成した指数です。直近2023年5月の赤ちゃん物価指数は前年比6.9%と、消費増税の影響があった2015年1月以来の高い伸びとなりました（左図）。

また、赤ちゃんにとって特に必要な粉ミルク、乳児服、紙おむつ（乳幼児用）のみを合成した「赤ちゃん物価指数（おもちゃ除く）」は同6.0%と、赤ちゃん物価指数の作成に必要な統計が揃う1990年以降で、最も高い伸び率となりました。5月は粉ミルクの価格上昇が全体の赤ちゃん物価の伸びを加速させる要因となりました（右図）。

足元では大企業を中心に賃上げの動きが広がりつつありますが、他方で「赤ちゃん物価指数」で確認されたように子育て関連商品の値上がりは賃上げによる所得増を上回る勢いとなっており、子育て世帯の負担の高まりが改めて確認できました。



【本件についてのお問い合わせ先】

（株）浜銀総合研究所 調査部 遠藤裕基 E-mail：y-endo@yokohama-ri.co.jp TEL：045-225-2375

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。